

本牧山頂公園

令和三年度 事業報告書

1. 施設利用状況（様式1～3）	1
2. 業務の第三者委託実績（様式4）	2
3. 年度修繕実績（様式5）	2
4. 年度増減備品一覧（様式6）	3
5. 苦情対応報告（様式7）	4
6. 事故対応報告（様式7）	5
7. 市民サービスの向上や公園の魅力向上・利用促進結果（様式8）	6
8. 収支報告書（指定管理料のみ）（様式9）	9
9. 運営目標・実績報告（様式10）	10
10. 自主事業実施報告（様式11）	11
11. 利用者アンケート結果（様式12）	13
12. 研修実施報告（様式13）	15

2022年5月20日

指定管理者



横浜植木株式会社

1. 施設利用状況（様式1～3）

（1）ドッグラン

利用月	開催日数	利用者数	利用犬頭数				利用料金
			大型	中型	小型	合計	
4月	10	986	391	179	159	729	416,500
5月	12	1,194	472	233	188	893	497,000
6月	8	547	202	120	97	419	221,500
7月	9	450	194	91	64	349	187,000
8月	7	331	139	54	49	242	128,500
9月	7	339	130	62	62	254	141,500
10月	9	722	273	154	104	531	303,000
11月	12	830	359	195	112	666	371,500
12月	10	670	273	162	98	533	294,500
1月	11	688	304	160	120	584	331,500
2月	10	589	248	146	119	513	295,500
3月	11	686	306	160	110	576	335,500
年間合計	116	8,032	3,291	1,716	1,282	6,289	3,523,500

（2）キャンプのできる広場

利用月	開催日数	利用者数				利用料金	備考
		一般 (バーベキュー)		団体 (キャンプ)			
		大人	子ども	大人	子ども		
4月	7	25	11	70	93	25,500	
5月	12	89	36	105	103	77,500	
6月	4	11	1	30	35	11,500	
7月	4	19	9	6	12	21,500	
8月	2	8	0	10	10	7,000	
9月	0	0	0	0	0	0	
10月	4	16	3	48	84	15,000	
11月	7	53	29	34	41	51,500	
3月	7	43	18	45	30	41,900	
年間合計	47	264	107	348	408	251,400	

※12月～2月は休止期間です。

※年度を通じて利用人数制限のため、利用サイトを半数として運営しました。

※4月～11月の期間、団体（キャンプ）の宿泊利用は中止しました。

※8月～9月の緊急事態宣言発令中は予約済の方の取りやめを要請し、新規受付を停止しました。

2. 業務の第三者委託実績（様式4）

業務	内容	再委託会社	金額	年回数	実施 月日	評価	対応 状況
キャンプ広 場運営	キャンプ広場利用者の対応	キャンプのできる広 場運営委員会	1,021,396	47	3～11 月	良	良好
ドッグラン 運営	飼い主のマナー教育、犬の躾 指導	(株)ミリオンペット	6,600,000	116	通年	良	良好
植栽管理	高木剪定、枯木の処理	エグゼプランティン グ(株)	3,375,700	随時	通年	良	良好
電気設備修 理	園内灯・電気設備の部品交 換、点検	(株)平岡電機	539,589	随時	通年	良	良好
電気設備点 検保守	高圧受電保守点検業務	関東電気保安協会	177,415	12	通年	良	良好
コールセン ター	夜間、年末年始、緊急時対応	京浜警備保障(株)	31,750	随時	通年	良	良好
施設清掃	トイレ・施設の清掃	清光社(株)	3,095,600	362	通年	良	良好
放送設備点 検	アンプ・スピーカーの点検	(株)エムテックメデ ィアジャパン	77,000	1	2月	良	良好
遊戯施設点 検	遊具の精密点検	日都産業(株)	80,000	1	8月	良	良好
空調設備点 検	ガスヒーポン保守・点検	東京ガス(株)	121,550	1	2月	良	良好

※別途協議済。

3. 年度修繕実績（様式5）

修繕年月日	修繕箇所	金額	委託業者名または 直営かの記載	対応 状況
4月18日	ゴミ集積場の屋根	51,985	直営	良好
4月23日～24日	荒井インターロッキング	138,330	齋藤土木	良好
5月21日、25日	園路灯基礎コンクリート 23ヶ所	122,100	平岡電機	良好
6月14日～17日	花のデッキ床板	457,600	植勘	良好
8月10日	第一駐車場トイレ排水詰まり	68,125	三ツ矢設備	良好
8月19日	フロアスターター等	6,820	戸塚農機	良好
8月25日	乗用モアシャフト	78,650	戸塚農機	良好
8月26日	大鳥口傾斜地土留	397,100	植勘	良好
8月27日	駐車場出口ポール	91,300	アマノ	良好
9月2日	謎のサークル階段	8,500	直営	良好
9月9日	フライングモア点検整備	31,460	戸塚農機	良好
9月11日	駐車場出口看板	7,734	直営	良好
9月30日	荒井のトイレドア修理	5,561	直営	良好
10月16日	地区センター階段枕木交換	87,775	横浜植木	良好
10月22日	第一駐車場トイレ吐水不良	18,700	三ツ矢設備	良好

10月28日	バックヤードゲートキャスター	87,000	宮田	良好
11月1日	出会いトイレバルブ交換	12,155	横浜中央サービス	良好
11月13日～14日	花のデッキ階段	136,520	横浜植木	良好
11月16日	第一駐車場トイレ水漏れ	74,800	三ツ矢設備	良好
11月25日	刈払機、発電機修理	10,450	戸塚農機	良好
12月18日	バックヤード蛍光灯交換	52,890	平岡電機	良好
12月15日, 1月4,5日	ベンチ板加工、塗装、交換（遊具広場2ヶ所, さくら広場1ヶ所）	96,323	直営	良好
1月6,9,13,23日, 2月26日	インターロッキング修繕 (7ヶ所)	51,915	直営	良好
1月23日	グレーチング修繕	17,000	直営	良好
1月13,20,25日, 2月1,8,15日	階段段差補修（本牧氏墓、謎のサークル下、 センター広場、宮原口、大鳥口）	63,100	直営	良好
1月27,29日 2月3,14日	テーブルベンチ研磨、塗装（観山広場2）	51,000	直営	良好
2月19日	花のデッキ応急処置	12,750	直営	良好
2月24日	園路灯 No. 1-3-7 交換	53,900	平岡電機	良好
3月2,7,10日	階段手摺塗装	26,399	直営	良好
3月9日	飛散防止ネット貼り換え	11,080	直営	良好
3月10日	出会いトイレ水栓交換2ヶ所	40,610	直営	良好
3月11日	ガスヒーポン部品交換	121,550	東京ガス	良好
3月26,27日	大鳥口四ツ目垣修繕	12,750	直営	良好

4. 年度増減備品一覧（様式6）

品名	形状・その他	単価 (円)	購入		廃棄		増減数	増減理由
			数量	年月日	数量	年月日		
丸テーブル	ライオン7926（野外用）				6	R3/12/1	-6	使用不可
電話機	パナソニック VE-E10-W				1	R3/12/1	-1	使用不可
草刈機	ロビン NB2550H ハッピー スタート				1	R3/12/1	-1	使用不可
サルキー	バロネス GM65A 用共栄社 010544				1	R3/12/1	-1	使用不可
パワーブローア	共立 PB480				1	R3/12/1	-1	使用不可
草刈機	バロネス GM50E				1	R3/12/1	-1	使用不可
テーブル	KT-123RN				2	R3/12/1	-2	使用不可
冷蔵庫	ナショナル NR-A8TA				1	R3/12/1	-1	使用不可
電子複写機	キャノン PC-950				1	R3/12/1	-1	使用不可
電話機	シャープ UX-D18CL				1	R3/12/1	-1	使用不可

【不法行為対策】

防犯対策として、遊具広場周辺及び、本牧地区センター口からハロー坂口（本牧小学校の通学路にあたる）は、見通しが良くなるよう、特に重点を置いて植栽を低く抑える管理を行いました。また、第2駐車場から出合いの交差点に至る園路は常緑樹の枝抜き剪定を行い、園路が明るくなるよう管理を行いました。ヨコハマヒザクラの枝を折る、レストハウス前に置いていた椅子を壊されるといった器物破損が発生した際は、警察に現場検証をしていただき、現場には目撃者を募る掲示を行ったことで、それ以降、同種の事件は発生していません。ノーリードについては、朝、夕の通勤時を含め、声掛けを行っているほか、掲示、園内放送で啓発に努めています。ノーリードの報告があった際には、都度、時間、場所、犬種等を確認し、中区生活衛生課と情報共有を行っています。

5. 苦情対応報告（様式7）

	年月日	内容及び苦情者	対応結果
1	4月16日 (金)	ノーリードの飼い主（外国人）に注意したところ「クレイジー」と言われた。	ノーリード禁止の英語看板を和田山口と荒井の丘に設置した。
2	5月7日 (金)	早朝、観山広場で大型犬 5～6 頭のノーリードがいて、怖くて通れない。	啓発看板をドッグランに追加掲示し、始業前に巡視を行った。
3	5月27日 (木)	カラスに襲われたので看板を設置して欲しい。	現場を確認し、注意喚起のポスターを掲示した。
4	6月22日 (火)	公園に隣接する保育施設の園児が蔓を取って園路に投げ捨てている。責任者に注意して欲しい。	保育施設責任者に苦情の内容を伝え、今後は子どもの行動を良く見て頂きたいとお願いした。
5	6月23日 (水)	本牧小学校より、地区センター前崖地で落石等の危険があるため、対応して欲しいと要望があった。	崖に近づかないようカラーコーンを設置し、カラーバーに注意喚起ポスターを貼付した。
6	7月6日 (火)	大雨の際、公園から緩衝帯へ大量の水が流れていたので状況を確認して欲しい。	現場確認後、側溝の蓋をコンクリートからグレーチングに交換した。
7	7月14日 (水)	愛護会管理エリアの歩道の草が伸びているので草刈をして欲しい。	現場を確認し、翌日に草刈を実施した。
8	7月19日 (月)	横浜市より、本牧小学校から階段の段差が危険であると指摘を受けたため調査の依頼があった。	園内の階段を調査し、報告した。後日、地区センターに降りる階段を修繕したほか、園内各所の段差の修繕を実施した。
9	8月18日 (水)	大鳥口公園隣接宅より、フェンスの蔓除去の要望があった。	日程を調整し、後日実施した。
10	8月19日 (木)	フェンスから越境している公園の木を強剪定して欲しいと要望があった。	横浜市と現地調査を行い、越境している枝の除去と併せて法面の枯木の除去も外注し実施した。
11	8月19日 (木)	陽当たり改善と、台風による折れ枝が危険であることから、公園の木を切って欲しい。	要望のあった場所は公園敷地外であった。また、敷地境界には緊急を要する危険木はなかった旨を要望者に伝えた。
12	8月27日 (金)	謎の木柱に降りる木製階段の一部にがたつきがあるので修理して欲しい。	木材の腐朽によりビスが外れ、がたついていたため、応急処置を行った。

13	9月6日 (月)	野良猫の置き水禁止の掲示に不快な思いをしたので、表現方法を変えて欲しい。	置き水禁止の理由と掲示の経緯を説明し、掲示物の文章変更を伝えた。
14	10月4日 (月)	横浜市より、ノーリードの情報があつたため、巡視で見掛けた際は注意して欲しいと依頼があつた。	始業前にあそびの広場で該当犬種の飼い主を発見した為、リードを繋いで頂くようお願いした。
15	10月6日 (水)	荒井の丘でノーリードのグループがいて、危険なので注意して欲しい。	飼い主に、苦情があつたことを伝え、リードを繋ぐようお願いした。
16	11月18日 (木)	荒井の丘北側法面の植栽がツルに覆われて光が当たらないので除草を行って欲しいと陳情があつた。	急斜面であることから安全作業を心掛け、手作業により可能な範囲でつる取りを行った。
17	1月9日 (日)	ドッグランの場所が分からず新規登録の時間に間に合わなかつた。	ドッグランの掲示を大きなサイズに変更し、ホームページに場所を記載した。
18	1月20日 (木)	まきばの丘奥にタバコの吸い殻が多く危ないので注意書きして欲しい。	タバコのポイ捨ては火事のもとになる旨の火災防止啓発ポスターを掲示した。
19	1月22日 (土)	同じ来園者から3回、自転車の規制を強化してほしいと要望があつた。	横浜市担当と対応を検討し、園内3カ所に「自転車は降りて通行する」旨のサインキューブを設置した。
20	2月2日 (水)	園路灯の消灯時間延長について、設定時間を変更できるか確認して欲しい。	タイムスイッチの現在時刻が20~30分進んでいたため調整を行った。
21	2月28日 (月)	観山広場で飼い主のいない犬が走り回っているのを何とかして欲しい。	来園者が該当犬を保護し、首輪の連絡先から、飼い主へ連絡した。園外で散歩中にリードが外れたとのことであつた。
22	3月8日 (火)	横浜市より、早朝の観山広場にてノーリードの犬が走り回っており怖くて通ることができないと投稿による苦情の情報提供があつた。	横浜市と対応について協議し、山手警察署へ情報提供を行い相談したところ、派出所の警察官による早朝の巡回を行って頂くことになった。
23	3月11日 (金)	公園HPで、さくら広場のカンヒザクラ情報を見て、観山広場に行ったがヨコハマヒザクラは咲いていなかった。	「さくらだより」中に記載された地名を確認できるよう地図を追加したほか、記載を品種別に整理した。
24	3月14日 (月)	本牧荒井の住民から公園の落葉が多いのと、越境枝があるため強剪定欲しいと要望があつた。	横浜市と協議し、しばらく手を入れていなかったことから、周辺の木も含めて強剪定することとした。

6. 事故対応報告 (様式7)

	年月日	内容及び被害	対応結果
1	4月10日 (土)	観山広場四阿付近のヨコハマヒザクラの直径5~8cm程度の枝が折られ、付近に割られたビール瓶の破片が散乱しているのを確認した。	警察に通報し、現場検証、指紋採取を実施していただき、夜間の巡視強化をお願いした。その後、異常を発見した場合は警察に通報して欲しい旨の掲示を行った。
2	6月3日 (木)	公園内通行許可証のない業者車両が貝塚口付近の園内に駐車しているのを確認した。	公園内の通行や駐車には横浜市の許可が必要であることを説明し、園外へ移動するよう伝えた。

3	6月16日 (水)	レストハウス前に設置した木製椅子が壊されていることを確認した。	警察に通報し、現場の検証と指紋の採取に加え夜間巡視の強化をお願いしたほか、異常発見時に通報をお願いする旨の掲示を行った。
4	7月10日 (土)	17時10分頃、ドッグランで利用者が切株(高さ50cm、直径30cm)に躓き転倒した。	手を負傷されたため救急車で病院に搬送した。発生時は明るく、視認性はあったが、再発防止のため切り株を撤去した。
5	8月27日 (金)	駐車場入口のゲートバーが壊されていることを確認した。	警察による検証の結果、当て逃げによる物損事故として処理された。
6	9月26日 (日)	観山広場南側崖上で枯死したコナラが崖下方向に倒れていた。	立入を規制し、接近している台風の緊急対応として付近の枯損木が倒木しないよう、強剪定を行った。
7	10月1日 (金)	台風16号が接近したため、特別巡視に加え、崖地と冠水地の確認を行った。	見晴らし山の四阿付近で枯木(5m)の倒木があり、日程調整後に回収を行った。
8	11月14日 (日)	地区センター口付近にレジスターが投棄されているのを発見した。	レシートの店名から所有者に確認したところ、盗難被害に遭っていたことが判明した。翌日、所有者が引き取りに来園された。
9	12月11日 (月)	夕方、謎のデッキでスピーカーから大きな音で音楽を流し、ダンスをしている来園者を発見した。	音量を下げるようお願いをしたが、「ルールを変えろ」と逆上されたため、迷惑行為は禁止である旨を説明し、その場を離れた。
10	12月23日 (木)	若者10名が小型バイク4台を公園内に乗り入れていると、来園者より山手警察署へ通報があった。	警官から、バイクは、駐車場から侵入したため厳重注意し、飲酒が確認された者は、保護者に連絡済みとのことだった。
11	12月27日 (月)	和田山の丘付近で火気使用による痕跡と設置していたコーンバーが燃やされているのを確認した。	警察署と消防署へ現場検証を依頼し、放火による火災として記録された。現場には放火防止啓発の内容を記載した看板を設置した。
12	1月23日 (日)	夕方、和田山口から電動キックボード2台が園内に進入し、スピードを上げて走行していた。	声掛けを行い、園内走行は禁止されていることを説明したが、逆上して走り去った。

7. 市民サービスの向上や公園の魅力向上・利用促進(様式8)

(1) 自主事業を含めた提案事業の方向性と狙いのまとめ

新しい魅力の創造として今期から始めたBeeプロジェクトは、3年度目となり、巣箱の設置場所をバックヤードから花のデッキ奥の園内に移動し、周辺にコスモス、ヒマワリ、ナノハナなどの蜜源植物やミニトマト、キュウリを植栽しました。これにより、ミツバチ見学会の際には、ミツバチが蜜や花粉を集めに来ているところの観察や、ミツバチは蜜だけではなく、トマトなどの受粉をすることにより人の食べ物の生産にも役に立っているといった、生態系サービスのお話もすることができました。

「山頂にチョウを呼ぼう」は身近な生きものについてより深く知り、触れ合うことを通して生物多様性の重要性や保全について考えるきっかけとすることを目的に本牧地区センター、公園愛護会と共催で実施しました。1回目の座学は、参加者と取り組みを継続するために、目的の

共有を目指して行いました。2回目は成虫の吸蜜植物であるウツボグサ、オカトラノオ、フジバカマの植栽を愛護会の管理するあそびの広場で行いました。3回目は9月に植栽した植物の活着状況や昆虫類のモニタリングを兼ねた観察会を実施しました。参加者の反応やアンケートの結果からは、興味を持って取り組んでいただけている様子で、緑の保全を考えるきっかけになったといった声もありました。10月には誘致対象の一つとしていたアサギマダラが飛来し、しばらく滞在したことから多くの人の目に触れ、活動の成果を実感することができました。

新しい魅力の発見として開始した、「山頂の森の自然を知ろう」は、公園の魅力の一つである自然環境の豊かさを市民に伝えるための取り組みです。レストハウスでの展示に対し、「自然観察の掲示物の内容がすばらしい。」といった声をいただきました。「山頂散歩」では職員がガイド役となり、園内を案内しながら動植物・生態系について解説しました。参加者からは公園には良く来るけど知らないことがたくさんあった、一人では図鑑を見てもわからなかった野鳥の種類を知れて良かったなどの声をいただきました。

公園の知名度向上と来園者の増加を目指して継続してきた、本牧の風コンサート、ドッグフェスタなど多くの集客が見込まれる事業は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、関係者と協議の上、中止としました。地域協働の取組のうち、本牧神社のお馬祭りに合わせて実施してきたライトアッププロジェクトは、前年度から各家庭の門前を照らす形での実施となり、公園では、公園愛護会やガールスカウトの協力でランタンを作成し、センターから本牧神社への園路、階段を照らしました。中区子ども駅伝大会は規模を縮小して実施、本牧クリーンアッププロジェクトは主催者と協議の上、中止となりました。

(2) 市民サービス向上取組の考え方

コロナ禍で、公園で時間を過ごす方が増えました。公園は余暇を過ごすための重要なインフラであることを改めて実感した年でした。大規模なイベントが実施できない代わりに、安全で居心地の良い景観や施設の維持に力を注ぎました。特にセンター広場からの見晴らしは素晴らしく、ベンチに座って時間を過ごす来園者は絶えません。センター広場周辺の芝生やツツジの植込みの植物管理は重点的に実施しています。

ドッグランでは、専門家による躰指導など質の高いサービスを提供しました。さらに、自主事業では、他ではあまり体験できない、はちみつしぼり体験や蜜ろうを利用したハンドクラフト体験等を実施したり、山頂散歩では、その場ではお答えできなかった参加者の質問に、後日丁寧にお答えすることによって、満足度を高めるように努めました。

(3) 利用促進の取組、利用者支援等の取組について

利用促進については、2月中旬のカンヒザクラから始まるサクラの時期には開花状況の問い合わせも多くなることから、ホームページに「さくらだより」のコーナーを設け、状況を都度お知らせするようにしています。

タブノキを中心とした照葉樹の鬱蒼とした森である和田山の丘に、散策される方の参考となるよう、「和田山の丘散策路」の看板と樹名板(14種類)を設置しました。また、レストハウス周辺の花壇を中心に年間を通じて花を楽しめるよう、アイスチューリップやユリの植栽、バラの手入れに力を入れています。

夏頃、本牧小学校の6年生の担任の先生から総合学習で公園を利用したいとの相談を受け、

その後、生徒が集めた公園の昆虫の資料について質問に答える等、図鑑作成の支援を行いました。

(4) 指定管理者が課題に感じている公園運営改善策

公園を利用される来園者どうしのトラブルを少なくすることが課題です。ノーリードによる犬の散歩は、ドッグランのマナー教室、中区の生活衛生課と連携した巡視の効果もあって、少なくなってきました。苦情があった際には、通勤ルートを変えて監視を強化しました。

また、公園内を自転車で通行することは制限行為であり、園内放送、掲示、声掛けにより啓発を行っていますが、公園が地域住民の生活道路にもなっていることから、なかなかなくなりません。利用者から自転車の通行は危険との複数の声をいただいたことから、横浜市担当者とは相談の上、園内3ヶ所に自転車は降りて通行するようお願いのサインキューブを設置したところ、自転車に乗っている方は減少しています。

(5) 広報やパブリシティー取組の考え方

インターネットやスマートフォンが広く普及していることから、ホームページや SNS による情報発信の効果が年々高くなっていると考えています。昨年度からInstagramによる情報の発信に力を入れています。質の高い情報を画像、動画とともにわかりやすく掲示することにより、集客のみならず、テレビや雑誌、タウン情報紙などの取材にもつながっています。

公園 HP の「さくらだより」を見たテレビ朝日の担当者から問い合わせがあり、「グッド！モーニング」の「気 show 予報」というコーナーで、観山広場のヨコハマヒザクラが中継されました。今年の本牧山頂公園では、ヨコハマヒザクラの開花が遅れたことで、ヨコハマヒザクラとソメイヨシノが同時に楽しめる、といった視点で紹介されました。放送後は県外の方々も含め、開花情報の問い合わせが多くなり、来園者の数も多くなりました。

鳥類については、昨年度に引き続き公園での情報を、日本野鳥の会神奈川県支部に提供しました。バードウォッチャーに広く情報が知られることにより、野鳥観察を目的として来園する方も増加すると考えています。

(6) 利用者ニーズ把握取組の考え方

利用者ニーズを把握することが市民サービスの原点と考えています。レストハウスにアンケート用紙を設置しているほか、イベント時のアンケート実施、HP への問い合わせ、利用者との直接コミュニケーションにより、利用者ニーズの把握に努めています。障がい者手帳をお持ちの方が駐車場の減免措置のため管理事務所に来られた際には、困ったことや、改善点はないか、お尋ねしています。また、本牧 4 南元気なまち運営委員会に参加し、地域のニーズの把握に努め、公園における取組を工夫しています。

苦情、要望も利用者ニーズを把握する機会と認識し、適切に対処するとともに記録に残し、翌年度には計画に組み込んで、仕組みとして苦情を減らしつつサービスの向上を行う取り組みを行っています。

8. 収支報告書（指定管理料のみ）（様式9）

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
収入の部						
指定管理料	49,457,440		49,457,440	49,457,440	0	
利用料金収入	2,500,000		2,500,000	3,523,500	-1,023,500	
自主事業収入	120,000		120,000	19,000	101,000	
雑入					0	
その他雑入	300,000		300,000	251,400	48,600	
収入合計	52,377,440		52,377,440	53,251,340	-873,900	

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
支出の部						
人件費	23,969,000		23,969,000	23,633,810	335,190	
給与・賃金	20,366,000		20,366,000	19,903,892	462,108	
社会保険料	2,203,000		2,203,000	2,569,178	-366,178	
通勤手当	1,300,000		1,300,000	1,115,552	184,448	
健康診断費	100,000		100,000	45,188	54,812	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
退職給付引当金繰入額	0		0	0	0	
事務費	2,400,000		2,400,000	1,702,205	697,795	
旅費	450,000		450,000	298,117	151,883	
消耗品費	900,000		900,000	729,099	170,901	
会議賄い費	20,000		20,000	0	20,000	
印刷製本費	100,000		100,000	69,132	30,868	
使用料及び賃借料	70,000		70,000	0	70,000	
（横浜市への支払い分）	70,000		70,000	0	70,000	
（その他）	0		0	0	0	
備品購入費	500,000		500,000	352,520	147,480	
図書購入費	30,000		30,000	10,800	19,200	
施設責任賠償保険	200,000		200,000	201,830	-1,830	
職員等研修費	60,000		60,000	18,182	41,818	
振込手数料	10,000		10,000	2,356	7,644	
リース料	40,000		40,000	11,864	28,136	
手数料						
地域協力費	20,000		20,000	8,305	11,695	
自主事業費	1,400,000		1,400,000	932,536	467,464	
管理費総合計	21,898,580		21,898,580	23,227,064	-1,328,484	
光熱水費合計	3,600,000		3,600,000	3,303,085	296,915	
光熱水費（電気）	1,900,000		1,900,000	1,786,301	113,699	
光熱水費（ガス）	400,000		400,000	430,221	-30,221	
光熱水費（上下水道）	1,300,000		1,300,000	1,086,563	213,437	
清掃費	3,500,000		3,500,000	3,130,800	369,200	
修繕費	2,500,000		2,500,000	2,503,932	-3,932	
機械警備費	30,000		30,000	0	30,000	
施設保全費	10,968,580		10,968,580	11,553,797	-585,217	
空調衛生設備保守	50,000		50,000	110,500	-60,500	
消防設備保守	30,000		30,000	0	30,000	
電気設備保守	200,000		200,000	315,614	-115,614	
害虫駆除清掃保守	50,000		50,000	0	50,000	
その他保全費・園地管理費	10,638,580		10,638,580	11,127,683	-489,103	予防伐採
共益費（合築等の場合）						
公租公課	2,709,860		2,709,860	2,702,255	7,606	
公租公課（事業所税）						
公租公課（消費税）	2,709,860		2,709,860	2,702,255	7,606	
公租公課（印紙税）						
その他公租公課						
事務経費	1,200,000		1,200,000	2,532,145	-1,332,145	
事務経費（本部分）	900,000		900,000	2,078,692	-1,178,692	勤怠システム
事務経費（当該施設分）	300,000		300,000	453,453	-153,453	
その他経費（当該公園分）	100,000		100,000	203,305	-103,305	
支出合計	52,377,440		52,377,440	52,197,870	179,571	
差引	0		0	1,053,471	-	
（参考）指定管理料外の経費						
設置管理許可収入合計	2,200,000		2,200,000	2,078,786	121,214	
設置管理許可支出合計					0	
差引	2,200,000		2,200,000	2,078,786	121,214	

9. 運営目標・実績報告（様式10）

目標設定の視点	当初設定した運営目標	当初設定した管理指数・数値	実績	目標との差異	今後の取組（改善計画）
業務運営1 （達成目標、運営業務の実施方針）	中期ビジョン 「Discover 本牧山頂Project」 地域協働の強化を通じて本公園の魅力を発見し、知名度向上を目指します。	・地域協働事業の継続実施 ライトアッププロジェクト クリーンアップラリー カボチャ祭り ・地域他公園との協働/年2回 ・地域団体の会議参加	実施 中止 中止 2回 参加	なし - - なし なし	地域協働事業は、感染症防止対策を取り、可能な範囲を協議しながら実施していきます。他公園には山頂公園での取組の成果を横展開していきます。
業務運営2 （利用者サービスの向上、利用者満足度や利用者数の増、利用しやすさ向上）	自然の保全と次世代の育成 ドッグランの運営強化	・チョウ誘致活動/年3回 ・Beeプロジェクトの展開イベント/年3回 はちみつ生産/年20kg ・山頂散歩実施/年6回 ・園内解説板掲示/年5箇所 ・HPでの情報発信/年12回 ・新規、更新 600頭 ・延べ利用頭数 5,500頭 ・ドッグフェスタの開催	実施 2回 20kg 3回 7箇所 50回 751頭 6,289 中止	なし -1回 なし -3回 +2箇所 +38回 +151頭 +789頭 -	アンケートや地域の方とのコミュニケーション、障がい者への話しかけなどにより、ニーズを把握し、運営の改善につなげていきます。
（取組内容）ドッグランでは、専門家による指導により、利用者の満足度は高く、利用者数は増加しています。また、自然を楽しみに来園される方が多いことから、「山頂散歩」として参加者と園内を歩きながら、動植物・生態系の解説を行う取り組みを行っています。					
業務運営3 （人員配置、緊急時対応計画、防犯防災、災害対応）	公園の独自色を出し、利用者満足度の向上・緊急時の対応など、いかなる事態に於いても現地職員が100%力を発揮できる適正な運営体制を構築します。	・提案書どおりの人員配置	平常時 4～6名	なし	本社社員によるサポート・バックアップ、緊急時も施設長及び本社社員が常に連絡可能な体制を構築します。
（取組内容）防災の取組として、一昨年の台風被害を教訓とし、予防的に境界部の越境枝、枯損木の点検、除去に力を入れて実施しました。					
人材育成 研修実施効果等	OJTや外部講習等、体系的な研修と、自己啓発環境の整備。職務上求められる以下の資質を重視し人材育成を行います。信頼性・安心感・清潔感・共感力・迅速さ	・人材育成研修5回開催	11回	+6回	さらに職員の知識や技術の向上を図り、より一層の管理品質の向上を目指します。
（取組内容）本社の造園工事専門家による、安全作業、芝生管理、廃棄物処理、排水設備、擬木階段等の研修を受け、植物管理作業、施設点検、修繕等に生かしています。					

維持管理1 (施設の保守管理、補修計画)	誰もが安全安心、清潔快適に利用していただけるよう、質の高い維持管理を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕計画の実施 ・維持管理水準書に則った法定点検の実施 	適正に実施	なし	横浜市策定「維持保全の手引き」「公園施設点検マニュアル」に基づき、安全の確保・美観の維持・施設の長寿命化・環境保全に配慮した維持管理に取組みます。
	(取組内容) 荒井の道路沿い歩道は雨水がインターロッキングの下に入り、砂が流され、広範囲に不陸の状態となっており、修繕しても豪雨があると砂が流されるのが繰り返されたため、当該範囲に排水パイプを2本埋め、排水溝につなげたところ、状況が改善されました。				
維持管理2 (清掃、園地維持管理、災害対応)	清掃は過去の実績を踏まえて水準以上の取組みで快適・清潔な施設を維持します。見通し良く、明るい緑環境を維持し、自然樹形維持・景観保持・生物環境保全に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理水準書に則った維持管理 ・トイレ清掃は水準以上の回数実施 	適正に実施 361	なし +98	日常・定期・臨時清掃を行い常に美観に配慮した維持管理を行います。
	(取組内容) 台風被害の予防として、園内各所の危険木の強剪定、伐採を進めました。ナラ枯れに対しては、コナラを中心にトラップを設置してカシノナガキクイムシの防除を行いました。トラップを設置した58本のうち枯死したのは7本に止まり、効果が見られました。				
経費節減策	直接雇用を増やし、委託費を節減して間接経費を抑えます。また、イベントはボランティアや地域と協働し費用対効果の向上を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域・ボランティア運営参加イベント開催数 5件以上 	5件 26回	なし	地域協働事業の内容を検討し、地域の方が積極的に参加できる環境づくりを目指します。
	(取組内容) 本社の強みを生かし、花や野菜の苗を導入したほか、造園工事専門家による設備に関する研修を受け、直営で修繕を実施しています。				

10. 自主事業実施報告 (事業報告書様式 11)

	事業名	目的・内容	実施時期・回数・収支状況・実施結果考察
1	本牧の風コンサート	レストハウス前の広場で行う本牧市民吹奏楽団定期コンサート。	5月に予定・感染症拡大防止のため中止。
2	本牧ライトアッププロジェクト	地域協働事業。園路を子ども達で作ったランタンで照らし、地域伝統行事「お馬流し」への一体感を醸成。	8月6日～8日・1回・家や施設の周りを照らす方法に変更して実施。

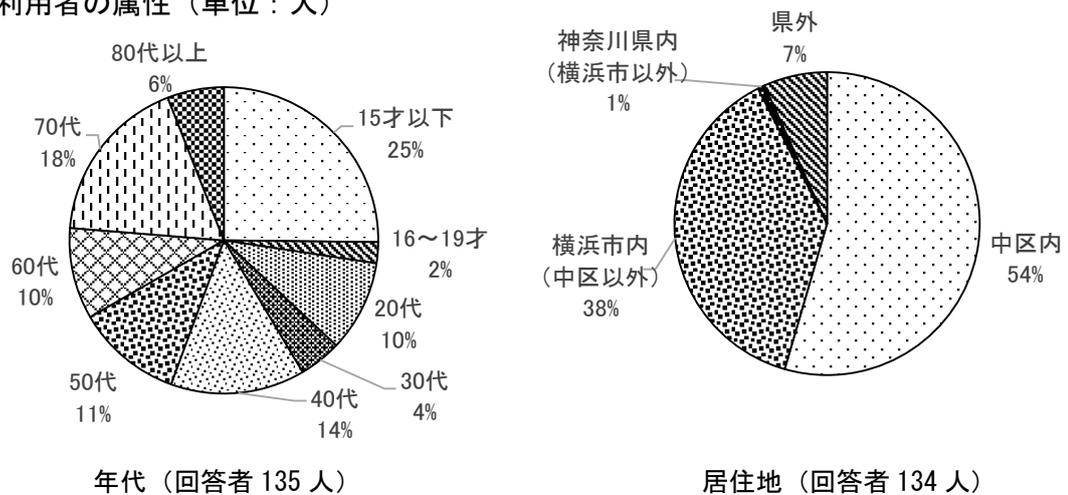
3	本牧ジャズナイト	夜景の美しさを味わいながら、ジャズに親しみ地域の方の交流を図る事業。	10月に予定・感染症拡大防止のため中止。
4	本牧キャンドルナイト	キャンドルの明かりの中、夜景と本牧吹奏楽団の演奏を楽しむ会。	12月に予定・感染症拡大防止のため中止。
5	本牧かぼちゃ祭り	市民協働事業。仮装して本牧をめぐり、三溪園を目指すスタンプラリー。	10月に予定。感染症拡大防止のため中止。
6	ドッグフェスタ	犬がテーマのイベント。50m レース、ペット同行避難訓練等を開催。	11月に予定・感染症拡大防止のため中止。
7	中区ブックフェスタ	地域協働事業。絵本をテーマにしたイベント。	11月・パンフレットに青空絵本を紹介。
8	中区保育園駅伝大会	地域協働事業。中区の保育園の年長児が観山広場でタスキをつなぐ。	11月・感染症拡大防止のため規模を縮小して実施。
9	本牧山頂公園クリーンアップラリー	地域協働事業。近隣の学区からゴミを拾いながら管理棟前に集合する。	2月に予定・感染症拡大防止のため中止。
10	山頂散歩	来園者を対象としたガイドツアー。動植物生態系について解説。	通年・3回・隔月実施予定であったが、感染症防止のため一部休止。
11	山頂の森の自然を知ろう	踏査による動植物の記録をベースに、自然環境の多様さ、複雑さ、美しさを紹介することが目的の事業。	和田山の丘に樹名板を多く設置し、散策路として案内しました。
12	チョウの生息環境整備	愛護会、地区センターと共催。チョウを対象に生物多様性の保全を体験。座学、植栽、モニタリングを兼ねた観察会を実施。	4月、6月、9月・3回実施。アサギマダラが飛来するなど活動の成果が見られました。
13	Bee プロジェクト	養蜂を通じて、公園の自然を知る環境教育実施と蜂蜜による地域貢献。	4～10月・週1回内検、はちみつ製品化、販売実施。
		ミツバチ見学会、はちみつ搾り体験会。	6月27日・1回・環境教育イベント。
		本牧市民公園、根岸森林公園でのはちみつ購入者を対象とした見学会。	9月予定・感染症拡大防止のため中止。
		蜜ろうを利用したクラフト体験会。	12月19日・1回・蜜ろうを使ったハンドクリーム作り。
		子どもたちに絵本の読み聞かせを通じた情操教育。	通年・10回・感染症防止のため一部休止。
15	野草を学ぶ、自然遊び、生きもの観察会	自然環境を残した里山エリアで、その特徴を生かした愛護会との協働事業。	通年・12回・子供たちに自然体験の場を提供する事業。
16	ノルディックウォーキング	起伏のある山頂公園を活用し健康増進に寄与する目的のウォーキング。	通年・7回・感染症防止のため一部休止。
17	ナチュラルリース作り	公園内の植物のツル、実、葉等を用いてリースを作るイベント。	12月18日・1回・多様な植物の形態に触れるきっかけとなりました。
18	親子さつまいも作り体験	屋上庭園に多くの親子が集う、自然体験型事業。	11月6日・1回・リピーターが多い事業。

18	焼芋大会	地区センターと共催。公園の落葉を集め、キャンプ場で焼き芋を楽しむ。	11月23日・1回・焼き芋体験は貴重で、人気が高い。
20	森林ヨガ	地区センターとの共催。観山広場でヨガをすることにより心身の健康増進を図る。	5月、10月・2回・コロナ禍で人気のプログラム。
21	わくわくファミリーキャンプ	一般を対象とした、キャンプのできる広場での年1回の宿泊体験。	9月に予定・感染症拡大防止のため中止。

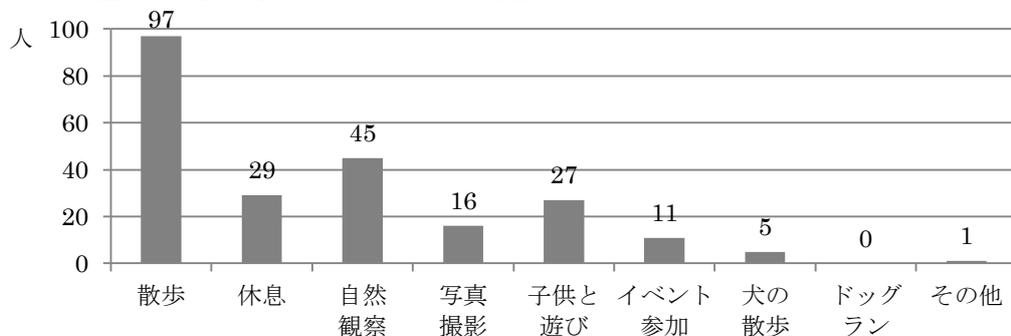
※別途協議済み

11. 利用者アンケート結果（様式12）

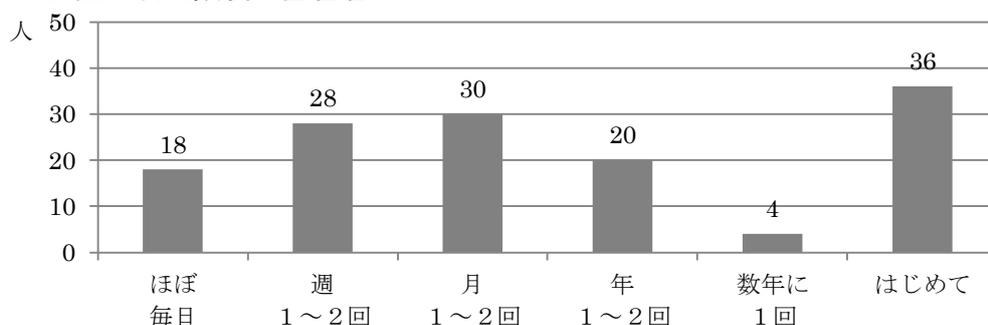
（1）公園利用者の属性（単位：人）



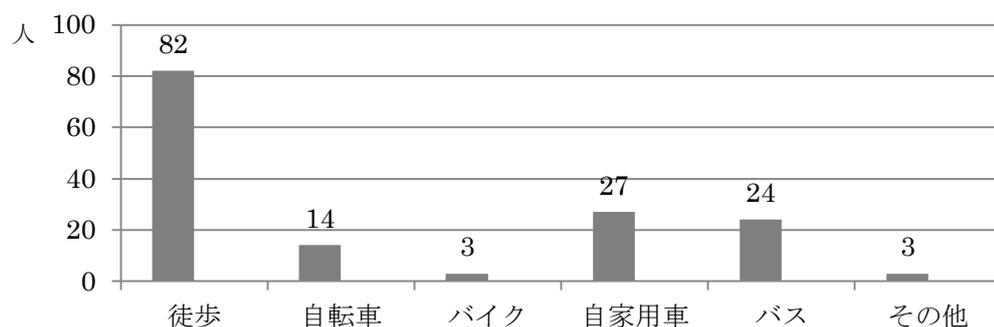
（2）公園の利用目的（回答者 134 人、複数回答）



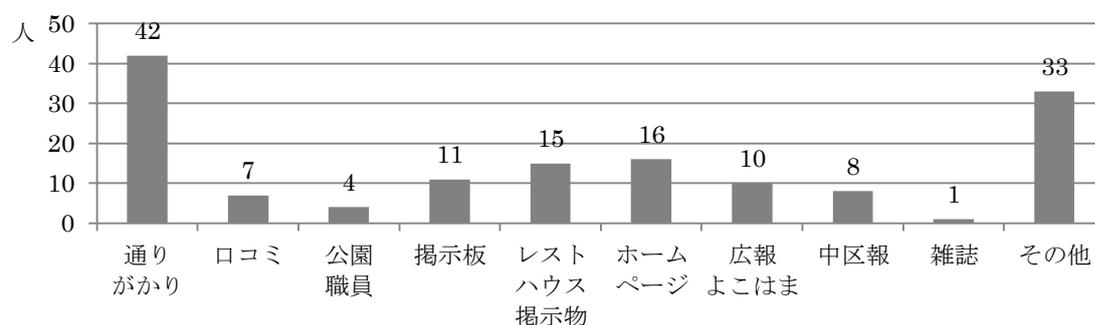
（3）公園の利用頻度（回答者 1396 人）



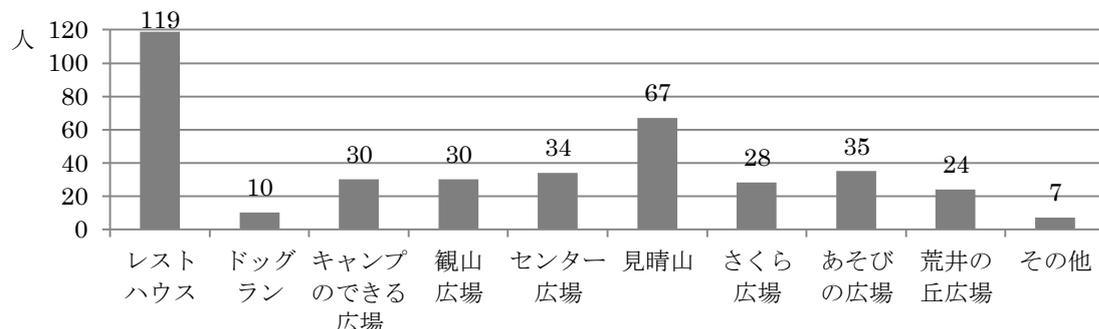
(4) 来園手段 (回答者 48 人, 複数回答)



(5) 公園情報入手手段 (回答者 119 人, 複数回答)



(6) 訪れた場所 (回答者 190 人, 複数回答)



(7) 公園の満足度 (%)

項目	満足	普通	不満	わからない
・施設の清潔さについて (トイレ、ベンチ、手すり、建物など)	54	33	10	3
・施設の利便性について (トイレ、ベンチ、園路など)	65	28	4	3
・安全性について (園内の安全性、安心感など)	71	26	1	2
・公園内外の案内について (案内サービス、案内板、サインなど)	62	33	3	2
・植栽の管理状態について (樹木、草花、樹名板など)	76	16	7	1
・イベント、催しについて	30	29	2	39
・職員の対応について	37	19	0	44
・総合満足度について	70	24	3	3
・再来希望	また来たい 93	もう来ない 0	わからない 7	

(8) 公園についての意見・要望等

<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍、山頂公園を散歩するのが日課になり季節の移り変わりを楽しんでいます。 ・手入れがよく行き届き気持ちいいです。 ・コーヒーが販売されるようになってとっても嬉しいです。 ・トイレがとてもキレイで子ども連れにはとてもうれしい。 ・木々の案内が充実して、自然観察に助かります。 ・自然観察の掲示物の内容が素晴らしい。特に、蝶の生息リストの内容は高いレベル。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レストハウスにおでんや、カップラーメン、卵、パンの自動販売機をおいてくれるとうれしい。 ・トイレをきれいにしてほしい。 ・トイレにウォッシュレットつけてほしい。 ・ジョギングしている人の多くの人がマスクしてません。注意のアナウンスをして欲しい。 ・公園の入口にバイクと自転車をとめるスペースを作してほしい。 ・小さい子が遊べる場所をつくってほしい。 ・木かげのベンチがあればありがたい。
--	--

12. 研修実施報告（事業報告書様式 13）

	実施日	研修名	内容及び効果
1	6/1	施設管理者を対象とする出前研修	座学後、西スポーツセンターの外周、室内、機械室を回り、点検ポイントの解説を受けた。公園施設の点検に役立つ知識を得た。
2	7/13	安全作業の基本、健康な体	安全作業を行う上で必要な筋力の整え方を座学、実地で学んだ。日常にトレーニングを取り入れて体力を整えたい。
3	8/20	擬木階段補修研修	擬木階段の補修方法について、実地で学んだ。その後、園内各所の段差の修繕を実施した。
4	8/20	排水設備研修	座学と実地で排水設備の重要性、構造と詰まりの確認、修繕の方法を学んだ。その後、園内各所の排水溝の清掃を実施した。
5	9/22	刈払機安全衛生教育	刈払機の作業時にどのような危険があるのか、どのようにして事故、振動障害の防止に取り組むのかを学んだ。
6	9/10	安全運転講習	事故を起こしやすいポイントを具体的な事例で学び、安全運転に対する意識が変わった。
7	11/11	インスタグラム研修	SNS 活用にあたってのガイドライン、基本的な操作方法について学び、公園の魅力を発信するのに積極的に活用している。
8	12/1	感動を呼ぶバラの景色 10 選、バラがなくても美しい景色 10 選	バラがある景色、なくても美しい景色の実例と、植物管理の手法について学んだ。
9	12/17	廃棄物研修	一般廃棄物、産業廃棄物の処分方法について学んだ。公園から出るゴミの分別化に役立った。
10	1/12、13、15	個人情報保護研修	公園運営にあたり、個人情報を取り扱う場面とその際の注意点について具体的に学んだ。
11	2/2	芝草の肥培管理	芝草は適正な肥培管理を行うことにより、適正な生育となり、景観的に美しくなるほか、刈払いの回数を減らせることを学んだ。